

# 図書館だより

第18号

1988. 12. 20 発行

編集兼発行 三重短期大学附属図書館 514-01 三重県津市一身田中野字蔵付157 TEL 0592 32-2342

## 目次

偏見と黒人 Sambo .....	井村 勤 ...	(1)
私のライブラリー .....	佐武 千恵子 ..	(3)
新規受入図書案内 .....		(4)
分野別ベストセラー .....		(10)

自民党の渡辺政調会長の「黒人差別発言」を契機にアメリカで日本批判が高まっているが、アメリカの週刊誌Time（1988年8月15日号）の記事を紹介しよう。

### 偏見と

### 黒人 Sambo

アメリカ黒人 日本人の人種差別的な態度に憤慨

井村 勤（法経科教授）

最初、グロテスクなほど大きな唇のLittle Black Sambo 人形と黒人のマネキンが東京のいくつかのデパートで展示されているという報道が伝えられた。次に、自民党の渡辺政調会長がアメリカの黒人は無責任であると公に発

言した。即ち、渡辺氏は講演の中で、「日本人だったら借金が返済できない場合は、夜逃げや一家心中を考えるだろう。だが、アメリカではクレジットカードが盛んで、黒人なんか、「もう、破産だ。明日から払わなくていい。」と考えている。」と語った。

渡辺氏は陳謝し、デパートも黒人の人形とマネキンを撤去した。だが、これらの出来事はアメリカで日本人の人種差別的態度に対するいくつかの疑問を提起した——即ち、2年前中曽根前首相が、「黒人とカスベイン系アメリカ人がアメリカの識字率や知的水準を引き下げている」と発言した後、もち上がった懸念を反映する疑問である。ワシントンでは28人の連邦議会議員から成る「黒人議員協議会」は、先週竹下首相に、黒人に対する否定的でステレオタイプの描写はこれを最後に止めるために閣議を召集するよう勧告した。チャールズ・ランゲル下院議員＝民主党・ニューヨーク州選出は、「私達は、世間一般の人種差別的な態度のことを言っているのである。彼等は今や世界の指導者である。これからは彼等は全世界が日本人という訳

ではないということ学ぶ必要があるだろう。」と断言した。

日本の学者達は、日本人は故意に人種差別的なのではなくて、何世紀の間で単一民族で世界から孤立して発展してきた為に他の民族に対して鈍感である、と主張する。東京大学の本間長世教授（アメリカ研究）は、「日本人は異った人種と付き合い社会的体験をほとんどしていない。日本人はマーチン・ルーサー・キング牧師とか公民権については知っているが、それは抽象的なコンテクストの中である。」と説明している。もし日本人がそのような状況にあるとすれば、ステレオタイプが沢山あるのは驚くに当たらない——ただ単に黒人に対するステレオタイプだけではない。即ち、白人は一般に日本人によって進歩しているとか「文化的」であると考えられているが、仲間のアジア人や他の人種・民族は時々後進的で劣っていると見られるのである。

多くの日本人は、第二次世界大戦後の占領時代、アメリカの兵士達が隔離された兵営に収容されているのを見た時、初めて黒人に接したのである。また他の日本人はアメリカのテレビ、映画や書物、あるいはアメリカの知人から人種差別的な態度やステレオタイプ——例えば Little Black Sambo のような——を身に付けた。「私は人種差別を毎日体験している。」と ABC ニュースの東京特派員である黒人のロバート・ジェファーソンは語っている。ジェファーソンの話によると、日本人は電車で彼の隣りに座ったり彼と同じエレベーターに乗るのを避けようとするとのことである。

このような体験は通常白人の外国人も同様に味わっているが、ジェファーソンはまた、例えば「黒人は皆歌が上手だから、あなたもきっと上手に歌えるに違いないでしょう。」というようにステレオタイプの発言——もちろん、アメリカでも聞かれない訳ではないが——投げかけられたのを思い出す。「下宿屋の主人はモデル、テレビタレント、バーのホステス、それに黒人には家を貸さない規則になっているから

と言って、家を見せてもくれなかった。」とジェファーソンは更に付け加えて言った。何故黒人は家を借りられないのですかと聞くと、「黒人は2・3人集まると、滅茶苦茶な振舞い方をするから。」と言われた。

同時に、日本のコマーシャルには黒人が目立ってよく出て来る。ボクシングのヘビー級世界選手権保持者マイク・タイソン、歌手のミカエル・ジャクソンは日本の製品を積極的に売り込んでいる。またサントリーはそのサントリーホワイトウイスキーのテレビスポットで 14 Karat Soul と呼ばれる黒人の doo-wop グループを出演させている。日本のマーケティングの専門家達は、テレビ視聴者は黒人の方が白人よりも精力的に見えるので黒人に好意的な反応を示す、と言っている。ある広告の専門家は、「黒人には普通の人間の力を超越しているように思われる野性的な側面があるように見える。」と語っている。

そのような黒人のイメージは、いかにゆがめられたものであろうとも、どうも広くアピールするらしい。大和マネキンのスポークスマン中島和博氏は、研究の結果そのデザインは「新しい性的魅力、かわいらしさ、及び新鮮なエネルギー」を表現していることが分かったので、わが社は黒人のマネキンを作り始め、ダンスをしている姿勢で配列するようになった、と語っている。外務省が「ワシントン・ポスト」紙に掲載されたマネキンに関する批判的の記事に会社の注意を喚起するまでに、大和マネキンはそのデザインのマネキンを100個作っていた。会社は製造を中止した。よく売れるおもちゃとギフト商品のメーカーであるサンリオもその例にならなかった。サンリオの製品には、Sambo と Hannah と呼ばれる大きな目の人形、そのベアの絵で装飾されたタオル、バッグ及び文房具が含まれていた。それらの商品は、Bibinba と呼ばれる大きな唇の黒人の人形と共に、昨年サンリオに1億1千万ドル以上の売り上げをもたらした。ある会社のスポークスマン戸松和男氏は、「わが社はある夏物の商品を作っていて、

その商品を「かわいい」物になるようデザインした。アメリカの少数民族に関する配慮が欠けていたことを深く後悔している。」と語っている。

もちろん、アメリカ人もここ数十年にわたって日本人に対するありのままの自分自身のイメージを作り上げてきた — 第二次世界大戦のポスターに描かれた悪意に満ちた日本人像から戦後のもっと優しい、だが必ずしも悪気がない訳ではない描写に至るまで。東京女子大学でアメリカ史を教えている猿谷要教授は、「もし、アメリカでそっ歯で目が細く目じりの上がった Jap と呼ばれる黄色い人形が展示されているとしたら、もちろん日本人は腹を立てるだろう。日本人はこの日本で Sambo によってそれと同じことをやっているのだが、それに気付いていない。日本人は鈍感である。」と語っている。感受性が鈍いかそうでないかはともかくとして、それはアメリカ黒人にとってはほとんど慰めにならない — 即ち、アメリカ黒人は国内で偏狭な信念・行為に打ち勝って、限られたわずかなものであるにせよ、前進してきたが、国外でその面倒な投影を見出しそっとしているのである。

## 私のライブラリー観

佐武千恵子（家政科教授）

図書館は昔から日本に存在したものであろうか？ 奈良時代すでに図書館らしいものはあった。その名前を芸停院という。芸停院といえは誰でも思い出すであろう、石上宅嗣が作った日本最初の公開図書館である。こうして図書館らしき建物は存在したが、その当時まだ図書館とは呼ばれていなかった。

〇〇院→文庫→書籍館→新聞書籍閱所  
そして明治になって図書館と呼ばれる様になったのである。

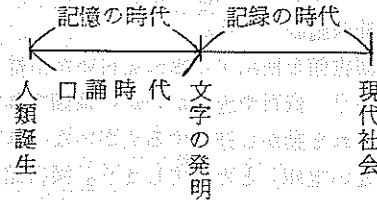
ところで図書館が有料だったのを御存知だろうか？ かつて、図書館は蔵書や資料を収集・

蓄積・保管するための図書館であったから、現在のように気軽に利用できなかったようで、図書館に入館する際、時代や地域によっては履物代としてお金を支払わなければならなかった。

（その履物代にも等級があつたか）

昭和25年、図書館法なるものができた。その中の第2章、公立図書館第17条に「利用に対する如何なる対価をも徴収してはならない」とある。

次に一般的な図書館の機能を述べると、人間社会はインフォメーションの伝達によって成立しかつ発展してきた。インフォメーションの伝達は社会における個人と個人を結合する接着剤の役目をする。それらが図書館の機能となり得るのも全て現代が記録の時代であるからである。さらにもう一歩いいかえるならば、言葉（文字）という物の上に全て立脚しているのである。



言葉という物が出来、文学らしい作品が出来かけた頃の代表作である「古事記」を知っておられるであろう。

「古事記とは、稗田阿礼が神代から推古天皇までの天皇系譜や皇室の伝承を大安麻呂が筆録したものである。その伝承者である稗田阿礼の生没年月は不詳であるが、記憶力に優れた語部の舎人であった事は判明している。口誦時代は、まさに稗田阿礼の様な語部達によって支えられていたのである。ちなみにヨーロッパでは、語部の事を「吟遊詩人」といった。

それからしばらくはまた口誦時代が続くようだが、丸暗記というのは、いかにも覚えにくい、そこで、物語に節をつけ歌として覚えるようになった。

その歌が詩歌であり、文字はまさに詩歌から始まっているのである。日本で詩歌といえば、あの有名な「万葉集」が思い出されるであろう。

「万葉集」は短歌あり、長歌あり、東歌あり、防人の歌がある。また、雑歌、相聞歌、挽歌など、これら全てがあることから私達を魅了してやまない心のふるさとといっても過言ではない。「ユウカラ」というアイヌ人に伝え続けられている物があることも、ど記憶にとどめおかれたい。

最近よく言われる言葉に、「図書館とは地域社会の頭脳である」というのがある。まさに、地域に根つき文化センターあるいは、資料館・文化館などと合体したり、文化館図書館部などという名前で存在したりもする。(まあ、この場合多々別の意味も含むが)

図書館は、この膨大化するインフォメーションの流れを専門的に統御し、管理し、全世界の人間が正しい情報にもとづいて各自の幸福生活を続けられるように用意することを任務とする公的な社会施設である。

ところで図書館を使用する際に気付いた事はないだろうか？ 資料や施設がいかに整備されていても、これを動かし運営する人がいなければ「開かれない宝庫」となってしまう。図書館職員は図書館の利用者に対して十分なサービスを行わなくてはならない義務があるから、利用者に対して十分なサービスを実行してくれているはずである。また私達利用者もそれを義務と決めつけず、十分な感謝をもって接したい。

それから学校図書館の中に教材として、視聴覚資料(絵、スライド、フィルム、地図、標本など)と(特殊資料、博物館的資料、政府刊行物、マイクロフィルム)と(その他)、パンフレットや、クリッピングなどをパーティカルファイルに入れて置いておく事が望ましいように思われる。

最後に、この様にして現在、公立図書館は無料なのであるから学生諸姉はもっと図書館を有効に活用すべきであろう。

## 新規受入図書案内

(昭和62年11月以降受入分)

### 総記 (000)

- フォト・ジャーナリストとは? (岩波ブックレット) 吉田 ルイ子
- 武器としての映画 (岩波ブックレット) ミゲル・リティン 他
- 三重県立図書館蔵書目録 三重県立図書館
- ことばの分析 本多 一郎
- 新・一太郎ガイド 小林 みすず
- ベーシックプログラムによる医学統計手法 緒方 正名 他
- 図書館雑誌総索引(昭和21年~昭和58年) 日本図書館協会
- 私の見たベレストロイカ (岩波新書) 和田 春樹
- 日本の地下鉄 (岩波新書) 入和久田 康雄
- 中国人民解放軍 (岩波新書) 平松 茂雄
- 国立国会図書館所蔵 社史・経済団体史料目録 国立国会図書館 編
- 書誌年鑑1987年 深井 人詩 編
- 内閣文庫百年史 国立公文書館 編
- 町医者 of 戦後 (岩波ブックレット) 松田 道雄
- ワイダの世界 (岩波ブックレット) 山田 正明
- 新しい文学のために (岩波新書) 大江 健三郎
- 日本語 一新版(上)一 (岩波新書) 金田一 春彦
- 現代社会主義を考える (岩波新書) 溪内 謙
- 新哲学入門 (岩波新書) 廣松 渉
- 宇宙論への招待 (岩波新書) 佐藤 文隆
- 昭和将棋史 (岩波新書) 大山 康晴
- 当世・商売往来 (岩波新書) 別当 実
- 超伝導 (岩波新書) 中島 貞雄

哲学 (100)

表情分析入門 P. エクマン  
 情動とストレス G. マンドラー  
 ユングが本当に言ったこと  
 精神分析用語辞典 E. A. ベネット  
 ラプランシュ 他  
 ベーゲル論 山田 忠彰  
 心理学史 T. H. リービー  
 目撃者の証言 E. F. ロブダス  
 フランシス・ゴールトンの研究 岡本 春一  
 日本人の感覚と生活 佐藤 愛子  
 死への準備教育第1巻～第3巻  
 (①死を教える ②死を看取る ③死を考  
 える) アルフォンス・デーケン  
 認知心理学を知る 市川 伸一 他  
 戸坂潤全集 第4巻 道徳の観念 戸坂 潤  
 ミシェル・フーコー 真理の歴史  
 フランシス・エワルド 他  
 桜井 直文 訳  
 知識人の覇権 石崎 晴己

歴史 (200)

新しい世界史第1巻～第7巻  
 (①大地の子 ②スルタンガリエブの夢  
 ③ピラの中の革命 ④静かな革命 ⑤支配の  
 代償 ⑥ふたつの黒人帝国 ⑦草の根のフ  
 シズム) 東京大学出版会  
 国史大辞典 8 国史大辞典編纂委員会  
 一志町史 上・下 一志町役場企画課  
 ライシャワーの日本史 エドウィン・O. ライシャワー  
 日本人とロシア人 中村 新太郎  
 わが南京プラトーン 東 史郎  
 全国市町村要覧 62年版 第一法規出版  
 日本歴史地名大系 下中 邦彦 編  
 中世の蝦夷地 海保 嶺夫  
 韓国から見た日本近代史 上・下 姜 東鎮  
 中世村落と荘園絵図 小山 靖彦  
 國家総動員史 下 石川 準吉  
 琉球王国の構造 高良 倉吉  
 近世の村社会と國家 水本 邦彦

JAPAN G. B. Sanson

長崎フランス物語 富田 仁  
 一ツツバタとマユ

社会科学 (300)

Understanding Japanese Society H. Joy  
 アメリカ州別文化事典 清水 克祐  
 外人をどうしたらよいかどうか事典  
 パキラハウス  
 Peopled Azimuth Sandip, Tagore  
 ザ・ジャパニズム E. O. ライシャワー  
 いま天皇を考える 歴史学研究会  
 後期資本制社会システム C. オッフエ  
 現代日本の支配構造分析 渡辺 治  
 ベレストロイカ N. ゴルバチョフ  
 政治学事典 下中 邦彦 編  
 現代法律学全集 (継続中)  
 (⑨契約法各論 ⑩不法行為 ⑪民事執行  
 法 上 ⑫労働法総論 ⑬民事法・医事  
 法) 青林書院  
 刑法通論 I 総論 青柳 文雄  
 現代刑法論争 II 植松 正 他  
 民法総則 遠藤 浩 他  
 現代土地法の研究 上・下 稲本 洋之助  
 国際機構条約・資料集 香西 茂 他  
 アブストラクト注釈刑法 中山 研一  
 法律ができるまで 小島 和夫  
 多数当事者訴訟の法理 井上 治典  
 条解刑事訴訟法 松尾 浩也  
 本人訴訟の研究 棚瀬 孝雄  
 民事紛争過程の実態研究 新堂 幸司 他  
 刑法要論 総論・各論 大塚 仁  
 不法行為法理の展開 前田 達明  
 口述債権総論 前田 達明  
 口述刑事訴訟法 上 光藤 景皎  
 家永三郎憲法裁判証言集 家永 三郎  
 裁かれる裁判所 上・下  
 ジェゴーム・フランケ  
 現代アメリカ社会と司法 大塚 秀介  
 フランス債権法 山口 俊夫  
 講義民事訴訟法 (第二版) 吉村 徳重 他  
 英米法総論 上・下 田中 英夫 他  
 注解刑事訴訟法 上 平塚 安治 他  
 訴訟促進政策の新展開 木川 統一郎  
 概説憲法 山下 健次 編  
 刑事政策入門 森下 忠

現代借地借家法講座 1・2・3 水本 浩 他編  
 憲法とマルクス主義法学 長谷川 正安  
 基本的人権と刑事手続 杉原 泰雄  
 ドイツ法学者事典 クラインハイヤー 他編  
 現代契約法 I, II 北川 善太郎  
 新訂 法社会学入門 及川 伸  
 法社会学論集 広中 俊夫  
 民法と理論大系 北川 善太郎  
 いのちの法律学 大谷 實  
 公図の研究 藤原 勇喜  
 民事の訴訟 福永 有利 他  
 注釈民法 総索引 一有斐閣一  
 旬刊商事法務総索引 Ⅷ1～Ⅷ1,100  
 一商事法務研究会一  
 刑法講義 総論 大谷 實  
 経済企画庁 編  
 現代刑罰法大系(①現代社会における刑罰の理  
 論 ②経済活動と刑罰 ③個人生活と刑罰  
 ④社会生活と刑罰 ⑤⑥刑事手続 I, II  
 ⑦犯罪者の社会復帰) 石原 一彦 他編  
 概説犯罪総論 大野 平吉  
 現代株式会社の課題 平出 慶道 他編  
 海洋法の歴史と展望 山本 草二 他編  
 現代法律学全集 26. 刑法各論 上  
 大塚 仁  
 刑法総論 福田 平  
 Cass Studies on the Labor Process  
 A. Zimbalist  
 The Internationalization of the Japanese  
 Economy C. Higashi  
 Foundation of Radical Political Economy  
 H. J. Sherman  
 シリーズ 世界の企業(①流通 ②自動車  
 ③エレクトロニクス ④航空機・宇宙産業  
 ⑤石油産業 ⑥テレコム ⑦鉄鋼業)  
 一日本経済新聞社一  
 環境変動と会計情報戦略 吉田 寛 編  
 近世物価史研究 山崎 隆三 編  
 近世日本の人口構造 関山 直太郎  
 Mirages and Miracles A. Lipietz  
 ポストケインジアン叢書  
 ⑭線型経済学と動学理論  
 P. M. グッドウィン  
 ⑮生産と分配の理論  
 L. L. パシネッティ 編  
 ⑰価値と分配の理論  
 L. マイヌウェアリング  
 厚生経済学の展開 福島 文人

中小企業のための共同化事業の経理と税務  
 高井 英治  
 日本企業の経済学 青木 昌彦 他  
 技術革新と中小企業 R. ロスウェル 他  
 ビジネスはファッションだ 牛久保 洋次  
 現代の中小企業 太田 三郎  
 中堅企業の時代 ロバート・クーン  
 中堅・中小企業成長論 清水 龍登  
 データでみる小企業20年の歩み  
 国民金融公庫調査部  
 ソ連経済 P. R. グレコリー  
 消費者行動と経済心理学  
 D. A. アルハデフ  
 戦略的企業革新 吉原 英樹  
 不平等の経済分析 高山 徳之  
 所得・資産分配の実態と問題点  
 経済企画庁 編  
 限度を超えたアメリカ  
 A. L. マラーブル  
 産業構造と消費者構造 一 時子山 和彦  
 競争と規制 上野 裕也  
 企業存立の条件 石原 和昌  
 ハーバード・ビジネススクールは何をどう教え  
 ているか フランシスコ・J. ケリー  
 Computer Chips and Paper Clips, Vol.  
 I, II Heidi I. Harsmann  
 南アジアの国土と経済 スリランカ  
 B. L. C. ジョンソン  
 日本人はドイツ人を追越したか  
 篠田 雄次郎  
 いまマルクスが面白い しいだ もも 他  
 社会主義経済改革論 吉野 悦雄  
 資本選択の現代論 桐谷 維  
 日本帝国主義史 1, 2  
 大石 嘉一郎 編  
 転換期の国家・資本・労働 広田 功 編  
 線型経済学と動学理論 有賀 裕二 他  
 米国銀行制度発達史 奥田 勲  
 ハイエク全集 一継続中一  
 ⑩法と立法と自由 III ハイエク  
 日本の軍拡経済 坂井 昭夫  
 ケインズ全集 一継続中一  
 ⑳戦後世界の形成 ケインズ  
 昭和62年度改正地方財政詳解  
 地方財政協会  
 抜本的税制改革と中小企業 播 久夫  
 税制改革 藤田 晴  
 税制改革の構想 野口 悠紀雄  
 財政危機下の税制改革 国民税制調査会 編

- いま「税制改革」を考える 谷山 治雄  
 地方財政の諸問題 日本財政学会 編  
 付加価値税論 佐藤 進  
 社会的公正と所得課税 牛嶋 正  
 マクミラン歴史統計 B. R. ミッチェル 編  
 調査とサンプリング 林 知己夫 編  
 都会人の心理 岩田 紀  
 老いの発見 副田 義也 他  
 第三の人生 A. テーケン  
 老いと死の受容 日野原 重明  
 Unequal Work V. Beechey  
 Working S. S. Terkel  
 Contested Terrain R. Edwards  
 労働運動 1987 新日本出版社 編  
 事典 日本労組連運動史 戸木田 嘉久 他  
 女の本がいっぱい 尼川 洋子  
 保育制度の課題 田村 和之  
 高年齢者雇用対策の確立 白井 晋太郎  
 国際化と国民意識 経済企画庁 編  
 消費者問題に対する提言 経済企画庁 編  
 都市をどう生きるか 宮本 憲一  
 日本人のライフスタイル 総理府広報室 編  
 日本人と国際コミュニケーション 梶山 皓  
 日本人とアメリカ人 C. G. クリーバー  
 社会学事典 見田 宗介 他編  
 自立家族 四方 洋 他  
 日本人とつき合う方法 ミッチェル、ドイッチュ  
 日本人の海外不適合 稲村 博  
 労働法入門 第三版 中山 和久 他  
 排除の構造 今村 仁司  
 結婚はすべてか 高柳 美知子 他  
 道徳性の形成 L. コーナルバーグ  
 コミュニケーションと文化変動 白水 繁彦  
 現代の労働時間問題 西岡 幸泰  
 学習理論と精神発達 W. K. エスティズ  
 心理検査・測定ガイドブック 塩見 邦雄 他  
 学校教育のための心理学実験室 河合 伊六 他  
 ハーヴァード・ロー・スクール 田中 英夫  
 子どもの会話 C. ガレヴェイ  
 教室にマイコンをもちこむ前に 三宅 なほみ 編  
 子ども共和国 エーバーハルト・メービウス  
 子どものためのカウンセリング 中西 信男 他  
 親の生きかた子の自立 石井 郁子  
 親の生きかた子の自立 石井 郁子  
 合格の技術  
 合格の技術問題集 一教職サービスセンター  
 登校拒否 西條 隆繁  
 ドラマのある授業 石井 郁男  
 英知の教育 大野 純一  
 教師の資質向上 日本教育経営学会  
 女性の成長と心の悩み 人見 一彦  
 生きものを教える 兼松 仁郎  
 人間としての教師 田中 孝彦  
 生命を尊ぶ心を育てる指導  
 生活体験や人間関係を豊かなものにする生徒指導  
 文部省 編  
 禁煙教育実践記 仲野 暢子  
 学校に行かない子どもたち  
 登校拒否を考える会  
 幼児期の育ちと中学生の心と身体の発達 河添 邦俊  
 天皇をどう教えるか 渡辺 賢二 他  
 心の教育 沖原 豊  
 児童・生徒の問題行動 木田 宏  
 発問上達法 大西 忠治  
 友情は2万キロのザイルへ 中嶋 美沙子  
 学校の間関係 島田 一男  
 暴力・いじめと教育 山口 治  
 たった一度の中学時代だから 関 誠  
 日本の中学生 千石 保 他  
 学校不適應シンドローム 中里 徹  
 友だちはぼくの宝です 頼宮 昭二  
 民主的徳徳教育の理論 右島 洋介  
 心を育てる道徳指導 岡崎 豊  
 管理主義教育をこえて 木村 武光 他  
 21世紀の教育基本書 阿部 真美子 他  
 新しい児童心理学 波多野 完治 他  
 いじめ問題 稲村 博  
 いじめのない世界 伊藤 みつ子  
 学校と非行 榎山 四郎  
 青年期の意識構造 加藤 隆幸  
 教師の体罰・暴力 今橋 盛幸  
 スクール・バイオレンス 内山 喜久雄  
 教師性の創造 河津 雄介  
 教師とライフコース 稲垣 忠彦 他  
 仕事着 一東日本編  
 神奈川大学日本常民文化研究所 編  
 風俗史への招待 日本風俗史学会 編  
 日本のすまいの源流 杉本 尚次 編  
 戦後ファッション盛衰史 林 邦雄  
 チェコスロヴァキアの民族衣装 中嶋 朝子 他

自然科学 (400)

発生のプログラム 石原 勝敏  
 DNAの遺伝学 山口 彦之  
 タンパク質 III 生物編 勝部 幸輝 他  
 精神分析と人類学 上、下 G. ローハイム  
 生命をつくる物質 岸本 康  
 ヒトの進化 ロジャー・レウィン  
 ヒトとひとの人類学 池野 茂  
 食料白書 昭和62年版 一大蔵省印刷局  
 未来を拓く I、II 現代化学編集グループ  
 同位体と化学 佐野 博敏 他  
 ヒューイ無機化学 上、下 J. E. Huheey  
 応用超伝導 萩原 宏康  
 超伝導のはなし 原 宏  
 生命科学なるほどゼミナール 大島 泰郎  
 セルフウォッチング レイ・ホジソン 他  
 比較血液型学 鈴木 正三 他  
 老人の生理と保健 勝沼 英夫  
 母乳と乳児用調製乳 V. S. Packard  
 医療改革 野村 拓  
 歯なしにならない話 朝日新聞科学部 編  
 現代食生活常識の誤り 新居 裕久  
 微量栄養素のはなし 松浦 宏之  
 人体の代謝 W. C. Memurray  
 食べる漢方大百科 伊沢 一男 他  
 逆転の健康読本 青木 久三  
 新しい難病エイズ 青木 雅純  
 標準組織学 各論 一第二版一 藤田 尚男 他  
 食生活指導 162 日本栄養士会 編  
 食物の機能と生態 有山 恒 編  
 生きていることの生理学 渡辺 俊男  
 奇跡の「速歩」健康術 波多野 義郎 他  
 国民栄養の現状 厚生省 編  
 薬 医者からもらった薬がわかる本 木村 繁  
 糖尿病運動療法の正しい知識 佐藤 祐造  
 生物に学ぶ健康法 中村 幸昭

工学・技術 (500)

三重県工業試験場要覧 三重県工業振興研究会  
 工業統計50年史 通商産業大臣官房調査統計部 編  
 日本の工業化と技術発展 南 亮進 他編  
 工業地域の労働組合 青木 英一  
 技術集団と産業地域社会 竹内 淳彦  
 都市のイメージ ケヴィン・リンチ  
 日本の石油産業 石油問題研究会 編  
 食品バイオテクノロジー 貝沼 圭三 編  
 伊勢崎織物史 伊勢崎織物協同組合 編  
 明治染織経済史 服部 之経 他  
 戦後紡績史 日本紡績協会  
 続 戦後紡績史 日本紡績協会  
 西陣史 佐々木 信三郎  
 日本ガラ紡史話 中村 精  
 東京織物卸業界百年のあゆみ 東京織物卸業組合 編  
 足利織物史(上・中・下) 早稲田大学経済史学会 編  
 桐生織物史(上・中・下) 桐生織物史編纂会 編  
 日本機業史 三瓶 孝子  
 現代工業全集 7 織物 大山 清一郎  
 日本紡績業の史的分析 名和 統一  
 日本綿業論 関 桂三  
 紡績操業短縮史 庄司 乙吉  
 木綿口伝 福井 貞子  
 木綿の旅 竹内 淳子  
 日本の木綿史研究 武部 善人  
 機織唄の女たち 井上 光三郎  
 木綿の本 小笠原 小枝  
 綿づくり民俗史 吉村 武夫  
 近代日本綿業と中国 高村 直助  
 日本紡績業史序説(上・下) 高村 直助  
 松阪木綿 桜井 祐吉  
 松阪もめん 山崎 宇治彦  
 和装織物業の研究 同志社大学人文科学研究所 編  
 尾西の綿スフ織物史 黒田 正隆  
 西陣織 切畑 健 他  
 伊勢織物史 倉田 庄兵衛  
 日本綿業発達史 三瓶 孝子  
 松阪木綿コト始メ ゆうづる工房 編  
 綿スフ織物工業発達史 谷原 長生



本邦綿絲紡績史 一日本綿業倶楽部一  
1988 テキスタイル加工集 阪上 末治  
男のカラーコーディネート事典

型紙教育の基礎知識 大平 富美子  
和裁 ～やさしく作れるふだん着～  
滝沢 ヒロ子

和裁 ～平面構成の基礎と実際～  
熊田 知恵

化学繊維の実際知識 日本化学繊維協会 編  
木綿のお嫁さん 北林 真理子  
ステッチハウス 25 もめんの下着屋さん

新・衣料品の見分け方 鎌倉書房書籍編集部 編

アパレル産業DCブランド新時代 推塚 武  
アパレル 遠入 昇

ファッション時代の証言 河合 玲  
学生のための被服構成学 筒井 京子 他

ニット衣料学  
消費科学のためのデーター処理法

繊維製品消費科学総論  
被服構成学要論

日本繊維製品消費科学会 編

下着おもしろ雑学事典 ワコール宣伝部 編

かけはぎ技術大全 吉村 一男  
既製服の時代 鍛島 康子

日本の食生活全集  
(⑦福島の食事 ⑬東京の食事)

和英・英和 家政学用語集 一農文協一

調理科学 日本家政学会 編  
菓子の科学 浜川 祥子

風土に生きる三重の味 伊藤 由紀子 他  
食べ物 森 亘 他

美人進化論 村沢 博人  
病気とからだの読本 I 竹本 忠良 他

## 産 業 (600)

日本産業論 木村 敏男  
現代日本産業論 新版 狭間 源三

国土情報シリーズ  
(①国内外の動向 ②国土数値情報 ③国土

情報の知識管理 ④コンピュータによる国土

情報の管理と利用 ⑤国土情報によるビジュ  
アル・コミュニケーション ⑥地理情報シス  
テム ⑦21世紀に向けての国土情報整備)  
一大蔵省印刷局一

Japanese Industrial Policy, Ira. C. Magaziner

円高で揺れる地場産業 国民金融公庫調査部 編

地場産業の展望 上野 和彦  
三重乃産業 三重県勸業協会 編

三重県の産業乃産業人 桐井 宗雄  
三重県産業共進会誌

三重県産業共進会 編  
地域再生のビジョン 清成 忠男

地場産業の研究 金子 精次  
阿波藍経済史研究 天野 雅敏

地域産業の見なおし 山崎 充  
日本の産業システム

チャールズ, J. マクミラン  
日本文化の経済学 並木 信義

三重県産業案内 三重県勸業協会 編  
三重県事業史 三重県協賛会 編

産業地域の形成と変動 植村 元覚 他  
恐るべき輸入食品

港湾労働組合・港湾関係物流実態調査研究会  
日本の食糧が消える N H K特別取材班

消費感覚論 梶山 皓  
真珠の発明者は誰か 久留 太郎

非営利、公共事業のマーケティング  
梅沢 昌太郎

伊勢商人 嶋田 謙次  
小作騒動に関する資料集 農政調査会 編

日本農業変革の時代 岡本 末三 編  
産業データの読み方

日興リサーチセンター 編

## 芸 術 (700)

デザイン戦略 柏木 博  
色と糸と織と 志村 ふくみ 他

色彩流化学 太作 陶夫  
日本映画の現在 緑川 亨

西欧芸術の精神 高階 秀爾  
想像力と幻想 高階 秀爾

日本近代の美意識 高階 秀爾  
色彩の本 河原 英介

マラソンウォッチング 山地 啓司  
レクリエーション活動の実際 池田 勝 他  
一般人・スポーツ選手のための体力診断システム 宮下 充正  
スポーツの栄養・食事学 鈴木 正成  
手軽にできる足裏健康法 中村 幸昭  
体育科学 浅見 俊雄

語学 (800)

ゴンサイス露和辞典 井桁 貞敏 編  
誤訳天国 ロビン・ギル  
ペーパーバックの読み方 鈴木 輝 編  
現代英語学要説 石黒 昭博 他  
日本人になる英語教育 宇都宮 秀和  
日本人の英語欠陥辞典 ピーター・ミルワード  
日本人の発想から英語の表現へ 国際交流基金 編  
日本文化を英語で説明する辞典 本名 信行 他  
日本人英語の科学 竹蓋 幸生  
実用フランス語技能検定試験 1・2・3・4級 フランス語教育振興協会 編

文学 (900)

源氏物語のヒロインたち 円地 文子  
チャオプラヤー河の流れ サティン・チャンティ・マートン  
小説 日本興業銀行 高杉 良  
チェーホフ全集 一継続中一 チェーホフ  
ノルウェイの森 上・下 村上 春樹  
冬眠の森 ～北の人名録 Part 2～ 倉本 聡  
ベッドタイムアイズ 山田 詠美  
静寂 鈴木 斌  
大きなお世話 九谷 才一  
事実の考え方 柳田 邦男

分野別ベストセラー

(11月1日 東販調べ)

<文芸>

- ① ダンス・ダンス・ダンス(上・下) 村上 春樹
- ② ノルウェイの森(上・下) 村上 春樹
- ③ トパーズ 村上 龍
- ④ 村上 龍 料理小説集 村上 龍
- ⑤ ノーライフキング いろいろ せいこう
- ⑥ 凧の光景 佐藤 愛子
- ⑦ 朝日のあたる家(上・下) 栗本 薫

<ビジネス>

- ① アメリカの経営者群像 山田 正喜子
- ② 「カゴメ」21世紀への挑戦 塩谷 未知、藤井 啓吾
- ③ Think big! 寺沢 芳男
- ④ 住友銀行七人の頭取 近藤 弘
- ⑤ 驚異のネットワークビジネス 栗林 直美
- ⑥ 新・日本経済 日本経済新聞社 編
- ⑦ トランプ自伝 D. J. トランプ & T. シュウォーツ

枝松 真一 訳

<ノンフィクション>

- ① たかが江川されど江川 江川 卓 他
- ② 私の間学(上・下) 池田 大作
- ③ 大國の興亡(上・下) ボール、ケネディ
- ④ わが息子よ、君はどう生きるか チェスター・フィールド  
竹内 均 訳
- ⑤ 寂聴般若心経 瀬戸内 寂聴
- ⑥ ここに母あり——北野さき一代記 北野 さき
- ⑦ ザ・プロフェッショナル

ゲイル・リバーズ  
落合 信彦 訳